

2021 年第 5 回日本脊椎脊髄病学会・日本側弯症学会合同社会保険等システム検討委員会議事録

日 時：10 月 20 日（水）18：00～19:00

場 所：Web Zoom

参加：日本脊椎脊髄病学会：大鳥精司（担当理事） / 遠藤健司（委員長） / 新井嘉容 / 鈴木秀和 / 高野裕一 / 平井高志 / 平泉 裕 / 牧 聡 / 宮城正行 / 渡辺航太 / ◇山縣正庸 / 辻 崇

側弯症学会：宮城正行（委員長） / 酒井大輔 / 谷口優樹 / 八木 満 / 青田洋一 / 井上 玄 / 藤田順之

欠席：酒井義人 / 種市 洋（担当理事）

外保連担当

JSSR 手術：遠藤、渡邊、実務：鈴木、牧、検査：高野、平井、処置：委員長平泉、鈴木、平井、麻酔：平井、広報：高野

検査画像診断 WG：遠藤、検査医療材料 WG：鈴木

側弯症 手術：藤田、八木、実務：井上、宮城、処置：酒井大輔、検査：酒井大輔、麻酔：宮城

議事項目

1. JSSR 理事会より（大鳥先生）：ヒトトロロンビン含有ゼラチン使用吸収性局所止血材の適正使用に関する具体的数値記載の扱いについて
→全審会での議事録は周知となっていくので、一定の基準となっていくと思われる
今後、JSSR 会員には NEWs Letter にて周知する。JSSR 学会演題予定とし、Journal of Spine Research での論文化とする。半年から 1 年後、再度評議員にアンケートを予定し改善度調査を検討する。
2. 2024 年度新規要望に向けての評議員アンケート準備について
11 月 1 日に評議員へメールで送り、締め切りを 11 月 30 日と設定して、11 月 20 日頃追加催促予定
3. 腰痛学会社会保険委員会報告（内保連）（山縣先生）
検査やリハビリなどで不合理あったら内保連で検討可能
4. 日本脊髄外科学会との連絡 1 月 21 日に向けて（遠藤）
5. 椎間板内酵素注入療法技術料改定の費用対効果のエビデンス作成（平井）
JSSR 倫理委員会申請中
6. 人工椎間板置換術施設基準について
脊髄外科学会：認定医と指導医
JSSR：指導医
→手術施行医に年齢格差がある。

→平井先生より吉井先生に連絡、確認していただく

・次回委員会は 12/15(水) 18:00 から予定 (アンケートの結果を渡して 1/12(水)の委員会で最終的にまとめる)